

2023年度

事業報告書

自 2023年 1月 1日

至 2023年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館事業	1
(1) 馬に関する博物資料の展示	1
(2) 馬に関する博物資料の調査、研究	3
(3) 出版事業	4
(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管	4
(5) 資料の貸出	5
(6) その他のイベント	6
(7) 馬に関する講演会等	7
(8) 他館等との交流	7
(9) その他の協力	7
2 馬展示事業	9
(1) 馬の展示	9
(2) 馬事イベントの開催と外部協力	9
(3) 春秋特別イベント	10
(4) 厩舎管理等	11
3 馬文化保存事業	11
(1) 馬事伝統行事保存事業	11
(2) 在来馬種保存事業	11
4 公苑の管理	11
5 入館者・入苑者	12
II JRA 競馬博物館における事業	12
1 JRA 競馬博物館事業	12
(1) 馬及び競馬に関する展示	12
(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開	15
(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究	16
(4) 出版事業	16
(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管	16
(6) 馬に関する普及活動及び学習支援	17
2 来館者への案内業務及び博物館の管理	17
3 入館者	18

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業	18
1 競馬振興会館（Gate J.）事業	18
(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信	18
(2) イベントの実施	20
(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	20
2 入館者	21
Ⅳ 広報活動	21
1 馬の博物館	21
2 JRA 競馬博物館	22
3 Gate J. 東京・大阪	22
Ⅴ JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	23
Ⅵ 寄附金・募金の受入れ及び使用状況	23
1 受入れ状況	23
2 使用状況	23
Ⅶ 庶務	23
1 評議員に関する事項	23
2 役員等に関する事項	24
(1) 役員	24
(2) 参与	24
(3) 職員及び組織図	24
3 評議員会及び理事会	24
(1) 評議員会	24
(2) 理事会	25

2023 年度 事業報告

2023 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において、社会情勢等を考慮しつつ、様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館事業

(1) 馬に関する博物資料の展示

例年どおり春・秋特別展とテーマ展を開催したほか、根岸競馬記念公苑整備事業に向けて馬の博物館が収蔵資料の整理・移動をするため当分の間休館となることに伴い、これまで収集してきた博物資料を精選して展示する、フィナーレ展を開催しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
2022. 12. 10 ～2023. 2. 12	テーマ展「馬のお世話のいまむかし」	第 2 展示室
	テーマ展「季語・馬 四季の風景」	第 3 展示室
2. 18～4. 16	テーマ展「近代日本画の中の馬」	第 2 展示室
	テーマ展「どこのウマの骨？ 直良信夫・林田重幸旧蔵コレクション公開展」	第 3 展示室
4. 22～6. 11	春季特別展「浮世絵美人と馬」	第 2・3 展示室
6. 17～10. 1	テーマ展「馬に関する言葉とファッション」 併設コラボ展示「賀茂競馬 930 年」 「対州馬展」	第 2 展示室
	テーマ展「刀を装う馬たち —中川コレクションより—」	第 3 展示室
10. 7～12. 3	秋季特別展「戦国武士と馬」	第 2・3 展示室
12. 9～2024. 1. 28	フィナーレ展「うまはく所蔵優品選」	第 2・3 展示室

① 春季特別展

馬と女性が描かれた浮世絵作品約 130 点を、前・中・後期に分けて展示しました。江戸時代に大衆文化として花開いた浮世絵には身分も立場も様々な女性が描かれ、彼女たちの表情や仕草、ファッションは人々を魅了しました。また、浮世絵のあらゆる画題に馬が描かれていたことから、馬が当時の生活に欠かせない身近で大切なパートナーであったことが見て取れます。

江戸時代には馬と人とのかわりに根ざした風習や文化が多様であり、浮世絵では女性たちが日々の暮らしの中でそれらに親しむ様子が捉えられました。そのほか、文学作品中の馬と女性が登場する有名なエピソードも、浮世絵の画題となりました。一方、男性を美人に置き換えるなどした見立絵は高い人気があり、絵の中でこそ楽しめる馬と女性のかかわりが見られます。明治

時代に入ると、最先端の流行を身にまとった女性と共に、馬は文明開化を象徴する存在として浮世絵に登場しました。このように浮世絵師たちの手によって馬と女性のかかわりは美しく洗練されたイメージとなり、広く親しまれてきた様相を、「暮らしの中の馬と女性」「旅する馬と女性」「物語の中の馬と女性」「文明開化における馬と女性」の4章に分けて紹介しました。

開催中の関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートークを4月29日、5月20日、6月3日の3回行ったほか、株式会社高橋工房に協力いただき、5月13日午前と午後に江戸木版画摺りの実演イベントを開催しました。

② 秋季特別展

秋季特別展は「戦国武士と馬」を開催し、馬具と馬術を中心に紹介しました。武士を「弓馬の士」、武芸を「弓馬の芸」と呼ぶように、馬上での戦闘が減った戦国時代においても、武士が馬術と弓術を習得することは不可欠でした。

馬具は、名工が制作した美術的価値の高い鞍だけではなく、合戦で使用した可能性のある実用的な鞍、鐙、轡なども陳列し、馬具の需要が高まった時代の特徴を紹介しました。馬術については、室町時代に人気のあった犬追物のほかに、戦国時代に誕生し、戦乱とともに各地に広がった八条流馬術を取り上げました。

開催中の関連イベントとして、10月21日に騎射ワークショップを開催し、木馬から矢を射る体験を来館者に提供しました。11月18日には金子拓氏（東京大学史料編纂所教授）と小川雄氏（日本大学文理学部准教授）による記念講演会を開催しました。また、11月11日・25日に当館学芸員によるギャラリートークを実施しました。

③ フィナーレ展

リニューアルに伴う長期休館を前に、現在の建物で行う最後（フィナーレ）の展覧会として所蔵品約100件を紹介しました。

馬を専門とする博物館として「馬博（うまはく）」の愛称で親しまれてきた当館は、1977年（昭和52）、「自然と馬」「大衆と馬」「歴史と馬」「乗馬の技術」「競馬」の5つのテーマで構成した常設展示とともにオープンしました。現在までに収集した博物資料は、歴史・民俗・美術工芸・競馬等多岐に渡ります。また、他館との交流によって特別展等も企画し、馬と人とのかかわりのなかで生み出されてきた古今東西の多種多様な文物を、様々な視点からご紹介してきました。今回は所蔵品を精選し、改めて馬の奥深い魅力に触れ、馬に親しんでいただく機会としました。

④ テーマ展

- ・「馬のお世話のいまむかし」では、日本ではどのように馬の飼養管理を行ってきたか、今と昔で変わったこと、あるいは変わらないことは何かを考え

ることをテーマとし、厩、餌・水やり、馬体の手入れ、蹄のケア、医療、糞尿の処理等のトピックごとに、手入道具、絵画資料等を展示しました。

- ・「季語と馬 四季の風景」では、馬に関する季語（歳時記・新歳時記に掲載）、俳句等を通じて、日本人が四季を楽しむ、愛でる文化を紹介し、懐古にふれ、いやしの心情に迫りました。
- ・「近代日本画の中の馬」では、明治から昭和期にかけて馬が描かれた日本画を紹介しました。
- ・「どこのウマの骨？ 直良信夫・林田重幸旧蔵コレクション公開展」では、古生物学者として著名な直良信夫氏と日本在来馬研究の第一人者であった林田重幸氏旧蔵の古代骨を展示しました。
- ・「馬に関する言葉とファッション」では、“馬言葉”を列挙し、それぞれの意味を紹介し、どのような由来をもっているのか紐解きました。同時に用語の語源となった故事や伝説などを描いた絵画や制作された工芸品、関連馬具、民俗資料もあわせて展示しました。一方で髪型、服装や身の回りの小物・雑貨（バッグなど）等のファッションを通して馬と人との密接な関係の一端を紹介しました。

また、併設して2つのコラボ展示を行いました。1つ目の「賀茂競馬 930年」を祝し、当館所蔵の賀茂競馬関係資料を出品しました。

一方「対州馬展」では対馬市主催「対州馬展」の開催にあわせて、当館が所蔵する対馬藩宗家旧蔵の馬術関係資料を展示しました。

- ・「刀を装う馬たち—中川コレクションより—」では、故中川洋一氏が収集された馬の意匠の刀装具から約60点を展示し、「馬をかたどる」「馬のいる風景をかたどる」「馬に関わる伝承・物語をかたどる」「馬具をかたどる」の4テーマに分類して刀装具の技法とデザインの豊かなバリエーションを紹介しました。

⑤ 常設展示

常設展示は第1、第2及び第4展示室において実施しました。

展示物	展示場所
根岸競馬の歴史・皇室と競馬等	第1展示室
曲がり家・明治天皇御料馬車	第2展示室
ウマの進化・馬と人との関わり	第4展示室

※新型コロナウイルス感染防止のため2020年3月5日から使用を休止していた第4展示室内の体験用機器の使用を5月10日から全て再開しました。

(2) 馬に関する博物資料の調査、研究

- ① 当館所蔵の動物遺存体（ウマ・シカ・イノシシ・貝類等）約1,160点の整理作業を行いました。

② 長崎県対馬歴史研究センターにおいて、対馬宗家文書に残る馬術関係資料約70点を調査し、当館所蔵の「宗家旧蔵馬術関係資料」に関連する馬術書を確認しました。また「宗家旧蔵馬術関係資料」の伝来経緯に係る情報も収集できました。

③ 秋季特別展「戦国武士と馬」開催のため、筑波大学附属図書館中央図書館、神奈川県立歴史博物館、名古屋市秀吉清正記念館、名古屋市博物館、滋賀県立安土城考古博物館、大阪城天守閣、林原美術館、駒澤大学、八潮市個人宅、川崎市個人宅において、古文書、武具及び馬具等を調査しました。調査の成果は、「戦国の馬具」「八条流馬術創始者八条房繁の軌跡」「松山城将八条憲勝の系譜と動向」として展覧会図録に公表しました。

④ 大学教授、博物館・美術館学芸員及び研究者による当館所蔵資料の調査依頼に協力しました。

件数	調査依頼資料名
1	宗家旧蔵馬術関係資料
2	《保元合戦図屏風》、《大原御幸・犬追物図屏風》他、13件
3	鎌倉市出土在来馬骨格標本（鎌倉市所蔵、馬の博物館寄託）、 濟州島在来馬全身骨格
4	狩野探信守道《卷狩図屏風》、狩野岑信《曾我物語図屏風》
5	賀茂競馬装束図
6	遼時代の馬具一式
7	馬付甲冑、馬面、馬等刀子他、2件
8	蹄鉄13点
9	尾竹国観《狩場 御富士》
10	《酒吞童子図屏風》他、4件

(3) 出版事業

① 春季特別展の開催にあわせ「浮世絵美人と馬」の図録を刊行しました。

② 秋季特別展の開催にあわせ「戦国武士と馬」の図録を刊行しました。

③ 春秋特別展並びにフィナーレ展のポスターとチラシを作成し、宣伝に務めました。

(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、博物資料を購入しました。

① 購入資料（20万円以上）

	資料名	
1	安田鞞彦《法住寺合戦図》 明治35年（1902）	1幅
2	豊臣秀吉朱印状 天正15年（1587）11月26日	1通
3	熊谷守一《馬》 昭和期	1幅
4	久隅守景《予讓図》 江戸前期	1幅
5	狩野永敬《騎馬武者図》 江戸前期	1幅
6	鈴木其一《瓢箪から駒図》 江戸後期	1幅
7	住吉広行《勿来関図》 江戸後期	1幅
8	橋本関雪《厩之秋》 大正期	1幅
9	狩野益信・狩野常信《佐野渡吉野山竜田川図》 江戸前期	3幅
10	荷蘭馬具図〔おらんだばぐず〕 江戸後期	1巻
11	葛飾北斎《馬尽 綿繰馬》 文政5年（1822）	1式
12	やまさき拓味《令和優駿たちの蹄跡 マイネルキッツ～思い出づくり～》 令和4年（2022）	1点
13	初代歌川広重《保永堂版 東海道五十三次 三島》 天保4年（1833）頃	1点
14	福島正則書状 年未詳 2月4日	1点
15	葛飾北斎《東海道五十三次 絵本駅路鈴 岡部》 文化7年（1810）頃	1点
16	歌川芳虎《武州横浜外国人遊行之図》 文久元年（1861）	1点

② 資料の管理・保管

- ・7月30日、31日に収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室等の床面消毒を、11月26日、27日に収蔵庫の燻蒸消毒を実施しました。
- ・版画資料の保存のため、資料28点のマット装を行いました。
- ・新たに収集・取得した博物資料、図書資料及び写真資料等の情報を資料管理システムに登録しました。
- ・博物館法の改正に伴い、デジタル・アーカイブ化が博物館の事業に追加されたことを受け、当館収蔵のフィルム資料（写真フィルム及びマイクロフィルム等）2,330件をテキストデータ化し、約14万コマをスキャンしました。また、資料管理システムにデジタル化したデータを登録し、システム上で検索・閲覧可能にしました。

(5) 資料の貸出

博物館及び美術館等の依頼により資料を貸し出しました。

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	坂本繁二郎《月光》1点	久留米市美術館	2022.10.14 ～2023.2.3
2	線刻早馳明神鏡像 1面	MIHO MUSEUM	4.27～12.20
3	山羊型鏡板響他、10点	古代オリエント博物館	6.29～9.14
4	安田雷洲《東海道五十三 駅》 14枚	サントリー美術館	9.13～12.13
5	明治39年秋季東京競馬会勝 馬投票券他、7件	行田市郷土博物館	10.20～ 12.20

上記のほか、書籍、新聞、雑誌、テレビ等多くの媒体（55件）に当館所蔵品等の画像を無償提供し、当館資料の有効利用と広報活動に努めました。

(6) その他のイベント

① さくらウィーク（3月18日～4月2日）

苑内の桜が見ごろとなる時期に合わせ博物館入館者を対象としたプレゼント企画やワークショップを実施しました。

- ・ワークショップ「マスコットホースを作ろう」当日先着・各回10組
（3月26日・4月2日 午前1回・午後2回）
- ・馬の博物館オリジナルグッズ「在来馬（ミカン・ゆき）メモ帳」入館者プレゼント（先着1,000名）

② 夏休み企画（7月15日～8月27日）

夏休み期間中に主に小学生を対象としたイベントを実施しました。

- ・移動図書館「はまかぜ号」in 馬の博物館
（7月26日、8月9日 午後各1回）
- ・自由研究相談「馬博士になろう」
（7月29日、8月5日・12日 にんじんタイム終了後）
- ・ポニーの絵をかこう 事前申込制・定員各回20名
（8月6日 午前・午後各1回、講師 田子 淳子氏〔横浜市中区「なかく街の先生」〕）
- ・おちゃっぴ粘土教室 事前申込制・定員各回20名
（8月13日 午前・午後各1回、講師 おちゃっぴ氏〔ねんどクリエイター〕）
- ・カプセルトイでオリジナル切り紙をプレゼント
（夏休み企画期間中の平日）
- ・ブックレット『馬のいろいろ』（公益社団法人日本馬事協会発行）配布
5種類・各先着300冊
- ・馬の記念スタンプコーナーの設置

③ クリスマス企画

横浜市と連携したミニコンサート並びに、季節にあわせたテーマで馬について解説するイベントを実施しました。

- ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館

(12月16日、主催 クラシック・ヨコハマ 2023、出演 横浜市民広間演奏会)

- ・学芸員による解説「馬博士になろう クリスマス ver.」

(12月9日・23日 にんじんタイム終了後)

(7) 馬に関する講演会等

① 講演会の開催

- ・白井市教育委員会主催「白井市文化財講演会」において、「小金牧の野馬と牧士」と題した講演を白井市文化会館で実施しました。(6月24日)

- ・対馬市主催「第6回対州馬と対馬の歴史トークショー」において、「馬の博物館所蔵『宗家旧蔵馬術関係資料』について—江戸のお殿様と馬術—」と題した講演を対馬市交流センターで実施しました。(7月9日)

- ・公益財団法人横浜市緑の協会主催の根岸森林公園歴史講座において「競馬法制定から根岸競馬終焉まで」と題した講義を馬の博物館イベントホールで実施しました。(12月10日)

- ・埼玉県立嵐山史跡の博物館主催「令和5年度歴史講座2」において「享徳の乱前後の関東2」と題した講義を、国立女性教育会館で実施しました。(12月15日)

② 学芸員課程学生の博物館実習

上智大学、聖心女子大学、専修大学、鶴見大学、帝京大学、東京農業大学より6名の実習生を受け入れました。(7月30日～8月12日)

(8) 他館等との交流

- ① 博物館事業の充実を図るため、神奈川県博物館協会が開催する会議、研究会に参加しました。

- ② 各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を実施しました。

- ③ 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館令和6年記念特別展Ⅱ「馬駆ける戦国の庭」への展示アドバイスをを行いました。

(9) その他の協力

- ① 横浜市中心図書館の依頼により、移動図書館「はまかぜ号」の巡回場所として、昨年に引き続き馬の博物館正門付近のスペースを提供しました。(隔週水

曜日)

- ② 関内・関外地区活性化協議会主催、横浜市都市整備局共催、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー企画・運営の「*花咲く Rally 花咲く横浜をめぐるデジタルスタンプラリー」（3月19日～6月11日）において、馬の博物館がスタンプポイントとして組み込まれたほか、参加特典（抽選）として招待券とオリジナルグッズを提供しました。
- ③ 馬車道商店街協同組合主催の「馬車道まつり」（11月3日）の出展協力として、横浜と馬との関わりに関する解説パネルや、対州馬の AR が体験できる QR コードの掲示を行いました。
- ④ 法政大学教育開発支援機構の依頼により、課題解決型フィールドワーク『引退競走馬のセカンドキャリア構築による人馬のウェルビーイング』の一環として、「馬の生態や進化を学ぶ」をテーマに、参加学生を対象に常設展示の解説を中心とした講義（9月13日）を実施しました。
- ⑤ 対馬市主催の「日本在来馬の記録と未来 対州馬」展(会期：8月11日～9月18日、会場：対馬博物館)において、解説パネルの作成、広告用ポスター等の掲示、関連イベント(講演会)への出演及び併設コラボ展示「対州馬展」の開催等に協力しました。
- ⑥ JRA の事業である「競馬法 100 周年記念事業」に際し、特設サイトや記念切手などの画像提供を行ったほか、株式会社中央競馬ピーアール・センターが担当した各競馬場での展覧会や優駿などへの画像提供、そして「レーシングプログラム 8月27日」版の表 2・3 のカラー 2 頁には「勝馬投票券 100 年コレクション」と題し、馬の博物館所蔵馬券画像の提供、原稿執筆、レイアウトなどのデザイン作成などの全面協力、またグリーンチャンネル「競馬法 100 周年記念特別番組」においては構成・台本、画像ピックアップなど番組全体の考証、監修を行いました。
- ⑦ JRA 馬事公苑の改修に伴い、同苑内で上映するビデオ映像「近代馬術の発展と馬事公苑」では画像提供だけでなく、著作権者への代行承認業務、構成内容の助言を行いました。
- ⑧ 新装する高知競馬場スタンド展示スペースの展示では、展示構成への助言から画像提供、参考資料提供を行いました。
- ⑨ 小田原市文化財保護委員会の依頼により、博物館から見た有形文化財の現状と保護に関する助言を行いました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として、多品種の馬 11 頭を繋養・展示しました。馬場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。

展示馬一覧表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ミカン	野間馬	栗毛	2010年5月	13	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より 借受
2	ゆき	北海道和種	河原毛	2011年4月	12	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
3	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年6月	18	セン	ベルギー	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
4	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年3月	9	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
5	イツ	フリージアン	青毛	2002年4月	21	セン	ベルギー	166cm	2019. 11. 27 東京競馬場より 受贈
6	エミ	ミニチュア ホース	青毛	2001年4月	22	牝	不詳	88cm	2019. 11. 27 東京競馬場より 受贈
7	カスミ チャン	サラブレッド	芦毛	2012年3月	11	牝	新ひだか町	161cm	2019. 12. 18 購入
8	エベレスト	ベルギー 温血種	芦毛	2004年4月	19	セン	ベルギー	172cm	2020. 3. 7 競馬学校より受贈
9	ヒメ	日本ポニー	鹿駁毛	2009年4月	14	牝	旭川市	120cm	2021. 12. 16 東京競馬場より 受贈
10	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年3月	20	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラブ ラフィアンより受贈 2023. 6. 6 うらかわ優駿 ビレッジ AERU に退 厩
11	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年3月	20	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラブ ラフィアンより受贈 2023. 10. 25 カントリーライフ 21 に退厩

※年齢は、2023年12月現在

(2) 馬事イベントの開催と外部協力

新型コロナウイルス感染症防止に留意し、ふれあいイベントを実施しました。

① 試乗会

毎月第3日曜日に各種「試乗会」を人数制限の上、実施しました。

(2・3・4・6・12月は馬車試乗会：先着10組。1・7・9・11月はポニー・馬の試乗会：先着ポニー20名・馬30名。5月春季特別イベントはポニー・馬の試乗会：事前申込制 各30名。11月秋季特別イベントはポニー・馬の試乗会：事前申込制 各40名。8月は暑熱対策・10月は降雨により中止。)

② にんじんタイム

馬に親しんでいただくため、毎週土曜日に、にんじんを与え、馬と触れ合うことができる機会を提供しました。（5月までは先着30組、6月以降は時間制として実施）

③ 根岸愛馬スポーツ少年団活動への協力

根岸愛馬スポーツ少年団の要請に応じ、年間を通じて安全を確保しながら適切な指導を行いました。

④ その他の協力

- ・学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れ、厩舎作業等を体験する機会を提供しました。

○1月26日 横浜市立港中学校2年生 2名

○11月9日 横浜市立根岸中学校2年生 2名

- ・下記の外部団体主催イベントに日本在来馬やポニーを派遣し、馬とのふれあいイベントを実施しました。

○2月25日「梅まつり」（主催：公益財団法人横浜市緑の協会）

派遣馬：ミカン号及びエミ号

○11月3日「馬車道まつり」（主催：馬車道商店街協同組合）

派遣馬：ミカン号及びサンゴ号

○11月23日「2023 動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"」

（主催：公益社団法人日本獣医師会）

派遣馬：ミカン号及びエミ号

(3) 春秋特別イベント

- ① 春季は、例年5月5日に実施している「馬とあそぼうこどもの日」をコロナウイルス感染防止のため一日に集中せず、ゴールデンウィーク期間中（4月29日～5月7日）に分散して、「馬とあそぼうウィーク」としてイベントを開催しました。

実施日	イベント名	催物
4.29 ～5.7	馬とあそぼう ウィーク	4.29 にんじんタイム
		4.30 馬車の試乗会
		5.2 放牧展示
		5.3 ポニーの試乗会
		馬の試乗会
		5.4 少年団騎乗供覧
		フリーマーケット
		5.5 在来馬とのふれあい
フリーマーケット		
5.6 にんじんタイム		
5.7 マイネルキッツお別れ会		

② 秋季は、11月5日に「馬とのつどい2023」を開催し、馬事伝統芸能、体験乗馬、在来馬とのふれあい等、各種催しを実施しました。

実施日	イベント名	催物
11.5	馬とのつどい2023	<ul style="list-style-type: none"> ・流鏝馬、笠懸披露<協力:公益社団法人大日本弓馬会> ・ポニーのお出迎え ・在来馬とのふれあい ・少年団騎乗供覧 ・ポニーの試乗会 ・馬の試乗会 ・放牧展示 ・フリーマーケット

(4) 厩舎管理等

① 展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、定期的に伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の消毒・害虫駆除等の衛生管理を実施しました。

② 実馬の展示については、家畜伝染病予防法(第十二条の三)に基づき来苑者の厩舎地区への立ち入りを一部制限しましたが、馬場での馬の運動中の様子に加え、芝生広場において、実馬を常時見学できるよう展示環境の提供に努めました。

3 馬文化保存事業

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、新規に申請のあった1団体を含む馬事伝統行事を実施する43団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する8種類の在来馬種の保存活動を実施する団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、昨年に引き続き、4団体を対象に監査を実施しました。

4 公苑の管理

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に実施し、公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	23日	607	139	55	801	35	23日	14,640	637
2月	20日	1,227	256	73	1,556	78	24日	20,960	873
3月	27日	1,475	280	209	1,964	73	27日	23,210	860
4月	22日	1,151	224	55	1,430	65	26日	23,020	885
5月	21日	1,785	420	146	2,351	112	26日	19,670	757
6月	22日	785	116	116	1,017	46	26日	10,640	409
7月	26日	828	175	101	1,104	42	26日	10,210	393
8月	27日	815	279	9	1,103	41	27日	7,740	287
9月	26日	909	162	35	1,106	43	26日	12,490	480
10月	22日	1,128	187	87	1,402	64	26日	18,290	703
11月	26日	2,092	426	145	2,663	102	26日	21,250	817
12月	19日	1,063	166	12	1,241	65	23日	15,350	667
2023年 計	281日	13,865	2,830	1,043	17,738	63	306日	197,470	645
2022年 計	268日	12,800	2,696	797	16,293	61	298日	212,800	714
前年比 (%)	104.9	108.3	105.0	130.9	108.9	103.3	102.7	92.8	90.3

*1日最高入館者数 1,011人 11月5日(馬とのつどい2023当日)

※秋季特別展『戦国武士と馬』会期中

*1日最高入苑者数(概数) 3,780人 5月5日(馬とあそぼうウィーク)

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
0	0	104	53	5	64	55	700	62

※新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に移行されたことに伴い、5月9日より団体見学の人数制限(最大50名)を廃止。

II JRA 競馬博物館における事業

1 JRA 競馬博物館事業

(1) 馬及び競馬に関する展示

競馬に対する知識と理解を深めるため、以下のとおり、特別展、企画展及びエントランス展を開催しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
2022.9.10～ 2023.10.1	企画展「馬にかかわるいろいろな おしごと～獣医師 馬のお医者さん～」	馬の学び舎
2022.10.8～ 2023.2.19	特別展「生誕130年記念 尾形藤吉 ～“大尾形”の系譜～」	エントランスホール ギャラリー 特別展示室 展示室3

2022. 10. 29～ 2023. 2. 19	第 10 回野馬追の里 南相馬 「子どもたちが描くふるさと絵画展～全国展～」	馬の学び舎
2022. 12. 10～ 2023. 2. 19	エントランス展「第 42 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントランスホール
2. 25～4. 16	テーマ展「2022 年度 JRA 賞展」	エントランスホール 展示室 3
3. 4～6. 4	エントランス展「2023 年度新人騎手紹介展」	エントランスホール
4. 22～10. 1	特別展 「競馬法 100 周年記念 競馬法と安田伊左衛門～」	エントランスホール ギャラリー 展示室 3
4. 22～11. 26	特別展「東京競馬場開設 90 周年記念 東京競馬場のあゆみ」	特別展示室 馬の学び舎
4. 22～11. 26	特別展「第 90 回日本ダービー記念 東京優駿～世代の頂点を決める “競馬の祭典” ～」	特別展示室 馬の学び舎
6. 10～10. 1	エントランス展「第 90 回日本ダービー優勝馬展」	エントランスホール
10. 7～10. 29	競馬法 100 周年記念特別展「伝統の天皇賞～日本競馬のあゆみとともに～」	ギャラリー 特別展示室
10. 7～ 2024. 4. 14	企画展「アーモンドアイ号顕彰馬選定記念展」	競馬の殿堂
11. 4～ 2024. 2. 18	特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」	エントランスホール ギャラリー 展示室 3
12. 2～ 2024. 9. 29	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～競馬場ではたらくるま～」	馬の学び舎
12. 9～ 2024. 2. 18	エントランス展「第 43 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントランスホール

① 春季特別展

- ・1923 年（大正 12）の競馬法制定から 100 年になるのを記念して、制定までの歴史と制定に尽力した安田伊左衛門について紹介した特別展「競馬法 100 周年記念 競馬法と安田伊左衛門」を開催しました。
- ・1933 年（昭和 8）の開場から 90 年を迎えた東京競馬場の歴史を紹介した特別展「東京競馬場開設 90 周年記念 東京競馬場のあゆみ」、90 回の節目を迎えた東京優駿（日本ダービー）の歴史を振り返る特別展「第 90 回日本ダービー記念 東京優駿～世代の頂点を決める “競馬の祭典” ～」を開催しました。

② 秋季特別展

- ・1905年（明治38）に創設されて日本競馬の変遷とともに120年近い歴史を歩んできた皇室御賞典競走（現在の天皇賞）の歴史と、皇室とわが国の競馬の関わりについて紹介した競馬法100周年記念特別展「伝統の天皇賞～日本競馬のあゆみとともに～」を開催しました。天皇賞（秋）が開催された10月29日には、東京競馬場に行幸啓された天皇皇后両陛下が展示をご覧になりました。
- ・ソダシ（2018年生・牝）の活躍によって、その希少性のみならず強さにも関心が高まった「白毛」について、これまでの研究で判明した遺伝の仕組みや、活躍馬のプロフィール、実物資料などを紹介した特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」を開催しました。

③ 企画展

- ・馬の学び舎では、JRAの獣医師の仕事を中心に紹介する「馬にかかわるいろいろなおしごと～獣医師 馬のお医者さん～」を開催、12月からは競馬場ではたらくくるまを紹介する「馬にかかわるいろいろなおしごと～競馬場ではたらくくるま～」を開催しました。
- ・2023年度の投票の結果、35頭目の顕彰馬に選定されたアーモンドアイ号の栄誉を称え、牝馬三冠、芝のGI9勝など輝かしい戦績を残した同馬の功績を振り返る「アーモンドアイ号 顕彰馬選定記念展」を開催しました。

④ その他の展示

- ・JRA賞の各賞受賞馬・受賞者の功績を広く紹介するため、展示室3において、テーマ展「2022年度 JRA 賞展」を開催しました。あわせて現役を引退し調教師に転身した福永祐一騎手の栄光の軌跡を紹介しました。
- ・エントランス展として、「第42回ジャパンカップ優勝馬展」、「第90回日本ダービー優勝馬展」及び「第43回ジャパンカップ優勝馬展」を開催しました。また、「2023年度新人騎手紹介展」では、3月にデビューした競馬学校騎手課程39期生6名をパネル等で紹介しました。

⑤ 競馬及び馬に関する常設展示

ライヴシアター「Thoroughbred」において「サラブレッド・ラボ」、「競走馬への道～栄光を目指して～」及び「“競馬の祭典”日本ダービー～馬と人とが織りなすドラマ～」を上映しました。

⑥ 移動展示及び他団体主催展示への協力

	展示期間	展示タイトル	展示場所
	貸出資料		
1	2022. 11. 2 ～1. 29	東京国立博物館創立 150 周年 記念事業「150 年後の国宝展」	東京国立博物館
	ドウデュース号（第 89 回日本ダービー優勝馬）関係資料		
2	7. 22～9. 3	「尾形藤吉 “大尾形” の系譜」	JRA 札幌競馬場
	ワシントンバースデーハンデ優勝賞品（ハクチカラ） 馬主服複製（クリフジ、ハクチカラ） 特別展展示パネル 30 枚		

(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開

等身大の馬像（ばん馬・サラブレッド・日本在来馬）を常設するとともに、馬の博物館よりサラブレッドの骨格標本（模型）を移設し展示しました。下記展示を開催し、博物資料、解説パネルを設置しました。また、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置を用いて、オリジナルアニメーションや馬事文化紹介映像等を上映しました。さらに、特別展開催にあわせて各種イベントを実施しました。

〈馬の学び舎 展示一覧〉

	展示期間	展示タイトル
1	2022. 9. 10～ 2023. 10. 1	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと ～獣医師 馬のお医者さん～」
2	10. 7～11. 26	特別展「東京競馬場開設 90 周年記念 東京競馬場のあゆみ」
3	10. 7～11. 26	特別展「第 90 回日本ダービー記念 東京優駿～ 世代を決める“競馬の祭典”～」
4	12. 2～2024. 9. 29	企画展 「馬にかかわるいろいろなおしごと～ 競馬場ではたらくるま～」

〈馬の学び舎 映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル
1	アニメ馬物語	走れ！ドンタ
2	〃	博物館は大騒ぎ
3	〃	頑固馬ミカゲじいさん
4	アニメ HORSE DREAMER	島田牧場へようこそ
5	〃	天下の沙汰も馬しだい

6	馬にかかわる仕事	日本の競馬を守る若き獣医師たち ～世界水準の先端医療をめざして～
7	馬にかかわる仕事	JRA 競走馬総合研究所 常磐支所 ～ターフで再び輝くために～
8	馬と祭り	相馬野馬追
9	馬と人	北海道和種編
10	馬と人	対州馬編
11	馬と人	野間馬編

〈馬の学び舎 イベント一覧〉

	イベント名	内容	実施日
1	「草野仁の Gate J. + (プラス)」公開収録	グリーンチャンネル制作番組、ゲスト南井克巳氏(中央競馬の元調教師・騎手)	4. 23
2	トークショー 「今浪さんが語るソダシここだけの話」	特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」の関連企画として、ソダシを手掛けた中央競馬の元厩務員の今浪隆利氏に同馬の魅力について話を伺う。	11. 12
3	講演会「白毛の遺伝子と毛色のメカニズム」	特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」の関連企画として、白毛の遺伝子や毛色のメカニズムについて競走馬理化学研究所の戸崎晃明氏が解説を行う。	11. 19

(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究

明治時代以降の競馬開催に関する文献資料を長期的に保存・活用するためデジタルアーカイブ化に取り組みました。

(4) 出版事業

特別展開催にあわせて「競馬法 100 周年記念 競馬法と安田伊左衛門」の入館者向けパンフレット、「伝統の天皇賞 ～日本競馬のあゆみとともに～」の入館者向けパンフレット「白毛図鑑 純白のサラブレッド」の入館者向けパンフレット及び子供向けミニ図鑑を刊行しました。

(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	タスティエーラ号馬主服 (第 90 回日本ダービー優勝時使用) 1 点

2	タステイエーラ号蹄鉄（第90回日本ダービー優勝時装着）一式
3	D. レーン騎手使用鞭（第90回日本ダービー優勝時使用）1点
4	D. レーン騎手使用ゴーグル（第90回日本ダービー優勝時使用）1点
5	イクイノックス号馬主服（第43回ジャパンカップ優勝時使用）1点
6	C. ルメール騎手使用鞭 1点
7	故大久保正陽元調教師所蔵資料（ナリタブライアン号他）16件
8	戦前馬匹資料（馬匹検査通達書、馬籍証明書、家畜診療組合書類等）一式
9	美浦トレーニング・センター関係資料（厩舎ジャンパー等）14件
10	友道康夫厩舎関係資料（厩舎ジャンパー、馬着、メンコ等）4件
11	音無秀孝調教師 通算700勝記念キャップ1点
12	ブチコ号使用馬具 一式
13	ソダシ号使用馬具 一式
14	シロニイ号使用ゼッケン（2023年横浜ステークス出走時）1点
15	アオラキ号使用ゼッケン（2023年6月17日函館4R出走時）1点
16	ミスターシービー号蹄鉄（三冠）各1点
17	ジェニュイン号蹄鉄（第55回皐月賞）1点
18	海外レーシングプログラム 63件
19	ガーネット号第40回天皇賞（秋）馬主賞品盾（馬主 畑江五郎氏）1点
20	ガーネット号第4回有馬記念馬主賞品カップ（馬主 畑江五郎氏）1点

② 資料の管理・保管

- ・収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を実施しました。
- ・クラウド型の資料管理システムに、収集した図書・博物資料の情報を入力し、管理業務を実施しました。

(6) 馬に関する普及活動及び学習支援

馬及び競馬に対する関心を高めてもらうため、春季及び秋季特別展の開催にあわせて担当学芸員によるガイドツアーを以下のとおり実施しました。

	ガイドツアー内容	実施日			
1	特別展「競馬法100周年記念 競馬法と安田伊左衛門」	4.22	4.29	5.6	5.13
	特別展「東京競馬場開設90周年記念 東京競馬場のあゆみ」	5.20	5.27	6.3	6.10
		6.17	6.24		
2	競馬法100周年記念特別展 「伝統の天皇賞 ～日本競馬のあゆみとともに～」	10.7	10.14	10.21	10.28
3	特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」	11.4	11.11	11.18	11.25

2 来館者への案内業務及び博物館の管理

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置して入館者に対する案内業務を実施しました。また、警備員を配置して入館者の安全・安心を確保する

とともに、展示資料等の維持管理を行いました。

体験機器の定期的な点検による安全かつ円滑な運用と、資料保存のための燻蒸による博物館の環境衛生管理を行いました。

3 入館者

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考					
1月	16日	4,323	270	開催日	2日	パークウインズ	8日	平日	6日
2月	16日	9,495	593	開催日	6日	パークウインズ	2日	平日	8日
3月	20日	4,259	213	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	12日
4月	18日	9,143	508	開催日	4日	パークウインズ	6日	平日	8日
5月	21日	19,457	927	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	13日
6月	19日	13,761	724	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	11日
7月	17日	3,299	194	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	9日
8月	22日	3,775	172	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	14日
9月	22日	3,637	165	開催日	0日	パークウインズ	10日	平日	12日
10月	15日	17,912	1,194	開催日	9日	パークウインズ	1日	平日	5日
11月	20日	33,662	1,683	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	12日
12月	16日	6,608	413	開催日	0日	パークウインズ	9日	平日	7日
2023年計	222日	129,331	583	開催日	45日	パークウインズ	60日	平日	117日
2022年計	227日	90,742	400	開催日	45日	パークウインズ	61日	平日	121日
前年比(%)	97.8	142.5	145.8		100		98.4		96.7

※臨時休館：3月8日、9日、29日、4月5日、10月4～6日、10月25～27日、11月1日、2日

<競馬非開催日〔平日〕>

*1日平均入館者数／総入館者数

東京競馬開催日 2,011人 / 90,503人

パークウインズ日 346人 / 20,775人

非開催日(平日) 154人 / 18,053人

*1日最高入館者数 9,777人 11月26日(ジャパンカップ当日)

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
351	81	373	355	0	29	13	1,432	78

III 競馬振興会館(Gate J.)事業

1 競馬振興会館(Gate J.)事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信

① Gate J.東京

施設内の展示コーナーを活用し、下記の企画展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	2022. 11. 30 ～2023. 1. 10	パネル展示「Memories of Grand Prix 有馬記念」
2	2022. 12. 12 ～2023. 2. 3	移動展示 「第7回競馬写真家写真展『翼 サラブレッド2022』」
3	2022. 12. 12 ～2023. 3. 31	実物資料展示：顕彰馬ブロンズ馬像 (テンポイント号・メジロマックイーン号・ トウカイテイオー号・ナリタブライアン号)
4	1. 11～2. 7	パネル展示「G I プレイバック 2022」
5	2. 8～4. 25	パネル展示「2022 年度 JRA 賞展」
6	2. 20～3. 31	写真展「Extreme. Relay. - 伝統を継ぐレース」
7	4. 3～6. 16	JRA 競馬博物館 移動展示「尾形藤吉“大尾形”の系譜」
8	4. 26～6. 9	パネル展示「Memories of オークス&日本ダービー」
9	6. 12～8. 10	パネル展示「G I プレイバック Spring Season 2023」
10	6. 19～8. 4	シリーズ企画「日本在来馬紹介（対州馬編）」
11	8. 7～9. 29	JRA 競馬博物館 パネル展示 「競馬法 100 周年記念 競馬法と安田伊左衛門」
12	8. 7～12. 8	所蔵資料展示「日本ダービー90 回記念展」
13	8. 14～9. 29	パネル展示「2023 Big Race Schedule Autumn Season ～私の語りた名勝負～」
14	10. 2～12. 8	JRA 競馬博物館特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」 先行展示
15	11. 6～12. 8	JRA 競馬博物館特別展「白毛図鑑 純白のサラブレッド」 サテライト展示（白毛イラスト&フォト作品・スポーツ新聞の追加）
16	12. 11～ 2024. 1. 26	馬の博物館「フィナーレ展 うまはく所蔵優品選」関連企画

② Gate J. 大阪

施設内の展示コーナーを活用し、下記の企画展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	2022. 11. 19 ～2023. 1. 10	オグリキャップ号関連資料展示（JRA 競馬博物館所蔵）
2	1. 5～2. 6	パネル展示「日本洋式競馬の歩み」
3	2. 11～4. 3	移動展示「第7回競馬写真家写真展『翼 サラブレッド2022』」
4	2. 11～6. 19	実物資料展示：顕彰馬蹄鉄 (シンザン号、スピードシンボリ号、 メジロマックイーン号、テイエムオペラオー号) 顕彰馬 馬主服 [複製] (タケシバオー号、テンポイント号) レーシングプログラム (1992 年・第 105 回天皇賞・春 [G I])

		クオカード (ジェンティルドンナ号・ロードカナロア号) クリアファイル (キタサンブラック号)
5	4.8～6.19	写真展「Extreme. Relay. ー伝統を継ぐレース」
6	6.24～8.7	JRA 競馬博物館 移動展示「尾形藤吉“大尾形”の系譜」
7	8.12～10.2	シリーズ企画「日本在来馬紹介（対州馬編）」
8	8.12～ 2024.1.22	所蔵資料展示「日本ダービー90回記念展」
9	10.7～11.13	JRA 競馬博物館 パネル展示 「競馬法100周年記念 競馬法と安田伊左衛門」
10	11.18～ 2024.1.22	移動展示 「第8回競馬写真家写真展『煌 サラブレッド2023』」

(2) イベントの実施

Gate J. 東京では、グリーンチャンネル番組「草野仁の Gate J.+ (プラス)」の収録を10回実施したほか、JRA 競馬博物館（6月放送分）及び馬の博物館（11月放送分）において、それぞれ出張収録を行いました。2020年3月以降、Gate J. では無観客収録を継続していましたが、1月より有観客（事前申込による定員制）による公開収録を再開しました。また、休館日に外部団体による施設利用（スポーツ新聞社主催のトークイベント）が1件あり、対応しました。

その他、Gate J. 協賛企画・出張イベントを下記のとおり実施しました。

	会期・実施日	内容
1	4.29～5.7	出張イベント「馬とあそぼうウィーク」 (於：根岸競馬記念公苑)
2	10.5～11	協賛企画 第8回競馬写真家写真展「煌 サラブレッド2023」東京会場 (於：ポートレートギャラリー)
3	10.20～26	協賛企画 第8回競馬写真家写真展「煌 サラブレッド2023」大阪会場 (於：富士フィルムフォトサロン大阪)
4	11.3	出張イベント「馬車道まつり2023」 (於：馬車道商店街)
5	11.5	出張イベント「馬とのつどい2023」 (於：根岸競馬記念公苑)

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

Gate J. 東京では、大型モニター等を利用し、ドローンの撮影による北海道の馬産地の風景映像や、写真家による競馬写真のスライドショー、グリーンチャンネル番組（13時以降）、開催中の展示企画の関連映像作品等を放映しました。

また、昨年引き続き、日本在来馬紹介映像（木曾馬・御崎馬・トカラ馬・宮古馬・与那国馬編）を制作し、順次放映を開始しました。

その他、馬の博物館等の当財団施設や展示の告知・紹介等を実施しました。

2 入館者

区分	Gate J. 東京			Gate J. 大阪		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	19日	1,114	59	14日	4,258	304
2月	19日	1,049	55	12日	3,510	293
3月	22日	1,230	56	12日	3,222	269
4月	20日	1,182	59	14日	5,346	382
5月	20日	1,392	70	15日	4,995	333
6月	22日	1,584	72	12日	5,019	418
7月	20日	1,481	74	15日	6,643	443
8月	22日	1,711	78	12日	4,939	412
9月	20日	1,679	84	14日	4,504	322
10月	21日	1,608	77	15日	6,615	441
11月	21日	1,927	92	12日	5,515	460
12月	20日	1,905	95	14日	9,817	701
2023年計	246日	17,862	73	161日	64,383	400
2022年計	238日	10,749	45	42日	17,633	420
前年比 (%)	103.4	166.2	162.2	383.3	365.1	95.2

*1日最高入館者数

Gate J. 東京 226人 11月3日

※同館にて『蛭名正義調教師トークイベント』開催

Gate J. 大阪 2,118人 12月24日（有馬記念当日）

IV 広報活動

1 馬の博物館

① グリーンチャンネルにおいて、秋季特別展「戦国武士と馬」の紹介映像を放映しました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所、近隣の協力企業等に展覧会のポスターやチラシ・案内リーフレットを配布し、広報活動の一助としました。

② 春季・秋季特別展をはじめ、展覧会開催時には地元メディアや近隣に周知を図りました。

③ 月刊誌「優駿」等の JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。

④ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。

※競馬ブック（6月5日発行）では春季特別展を紹介するカラー記事（2頁）が掲載。

- ⑤ ホームページや Facebook、X（旧 Twitter）を活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに、臨時休苑・休館等の緊急告知にも迅速に対応しました。
- ⑥ 館内及び近隣駅の観光案内所に英語版の案内リーフレットを配布し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。

2 JRA 競馬博物館

- ① インターネット広告、競馬雑誌、フジビューウォーク広告、場内 A 型看板等を活用し、特別展・企画展の開催及びイベントの実施を積極的に告知し、競馬ファンだけではなく、広く一般の来館者の増加に努めました。
- ② 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ③ 月刊誌「優駿」等の JRA 発行印刷物には、開館状況及び展示に関する案内を掲出しました。
- ④ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、展示及びイベント開催の告知を図りました。さらに Facebook、X（旧 Twitter）にて適時、情報を発信しました。
- ⑤ オリジナルカレンダーを制作し、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者に配布しました。なお、来館者への配布については、競馬場アプリを活用して先着 600 名と Web 申込みによる希望者へ抽選で 200 名に郵送しました。

3 Gate J. 東京・大阪

- ① 東京・大阪の両施設の情報を盛り込んだ案内リーフレットを新規製作し、馬の博物館・JRA 競馬博物館、JRA の各施設において配布したほか、汐留公共地下歩道や東京スカイツリーにて開催された JRA 主催のイベントにおいても、リーフレットに加えて別途案内チラシを作成・配布し、広報強化を図りました。
- ② ホームページを活用し、開催中の企画展示等最新情報の発信に努めました。
- ③ 館内のパネル展示コーナー等を活用し、馬の博物館・JRA 競馬博物館の展示活動をはじめとする当財団事業の紹介及び展覧会の開催告知を行いました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託により、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を実施し、262 作品の情報と候補作品 5 点を選定し報告しました。

VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況

1 受入れ状況

在来馬保護のため総額 212,950 円の寄附金を受入れました。

① 在来馬種の保存のための寄附金

受入日	寄附金額 (円)
2.28	10,000
6.25	30,000
12.10	10,000
合計	50,000

② 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 162,950 円

2 使用状況

2023 年度においては、これまでに受入れた寄附金のうち 2,119,866 円を公益社団法人日本馬事協会に寄附し同協会を通じ以下の団体に活用されました。

団体名	導入・整備内容
木曾馬の里 木曾馬乗馬センター (長野県木曾郡)	馬用開口器
	平打ち縄
	仮設放牧柵
のまうまハイランド (愛媛県今治市)	馬用開口器
目保呂ダム馬事公園 (長崎県対馬市)	馬用開口器
	馬体重計

VII 庶務

1 評議員に関する事項 (2023 年 12 月 31 日現在)

氏名	就任日	退任日
岡部 長忠	2013. 1. 4	2023. 6. 11 (死亡)
澤野由紀子	2013. 1. 4	
山崎 毅紀	2013. 1. 4	
小畠 薫	2020. 12. 10	
楯岡 信一	2020. 12. 10	

橋本 次郎	2022. 3. 13	
-------	-------------	--

2 役員等に関する事項（2023年12月31日現在）

(1) 役員

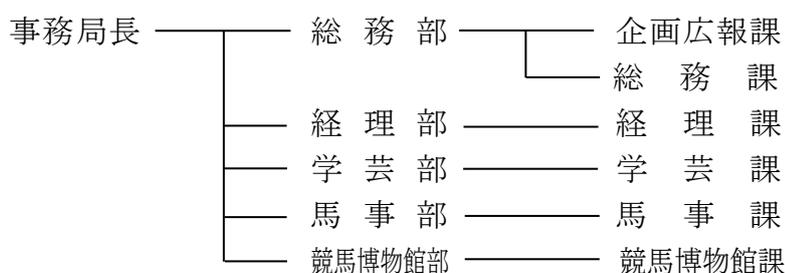
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	福田 正二	2022. 3. 24		
常務理事	山野辺 啓	2019. 3. 28		
理事	栗田 晴夫	2016. 2. 25		非常勤
理事	齊藤 茂	2020. 2. 27		非常勤
理事	杉浦 幸子	2023. 4. 17		非常勤
監事	石井 秀司	2018. 2. 23		非常勤
監事	杉浦 一成	2021. 4. 1	2023. 2. 28	非常勤
監事	尾作 圭介	2023. 4. 17		非常勤

(2) 参与

氏名	委嘱期間	備考
長塚 孝	2023. 4. 1～2024. 3. 31	2019. 4. 1～

(3) 職員及び組織図

職員 22 名、嘱託 5 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	

1	2. 27	①令和4年度事業報告書について	6名	6名	全員賛成
		②令和4年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	6名	6名	全員賛成
		③令和5年度収支予算書の一部変更について	6名	6名	全員賛成
		④定款の一部改正について	6名	6名	全員賛成
2	書面決議 4. 15	①当財団理事として杉浦幸子氏を選任することについて	6名	6名	全員賛成
		②当財団監事として尾作圭介氏を選任することについて	6名	6名	全員賛成
3	12. 6	①2024年度事業計画書について	5名	3名	全員賛成
		②2024年度収支予算書について	5名	3名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2. 10	①令和4年度事業報告書について	4名	4名	全員賛成
		②令和4年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	4名	4名	全員賛成
		③令和5年度収支予算書の一部変更について	4名	4名	全員賛成
		④定款の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		⑤第1回評議員会の開催について (報告事項)	4名	4名	全員賛成
		①職務の執行状況について ②規程の一部改正について			
2	4. 7	①当財団理事として杉浦幸子氏を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	3名	全員賛成
		②当財団監事として尾作圭介氏を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	3名	全員賛成
		③第2回評議員会について (報告事項)	4名	3名	全員賛成
		①職員就業規則の一部改正について			
3	11. 21	①2024年度事業計画書について	5名	4名	全員賛成
		②2024年度収支予算書について	5名	4名	全員賛成
		③第3回評議員会の開催について (報告事項)	5名	4名	全員賛成
		①職務の執行状況について			